

ボーマン・ベアンテ

チェロ・リサイタル



曲 目

バッハ: アリア

サン・サーンス: 白鳥

ボッケリーニ: ソナタ6番

他

ボーマン・ベアンテ (チェロ)

スウェーデンのファレン市で生まれる。12歳の時、チェロを始める。1967-71年ストックホルム王立音楽大学でグスタフ・グレンダール教授に師事、最優秀賞の殊勲メダルを授与され卒業し、1971-1972年スウェーデンのゴッテンブルグ市(スウェーデン語ではイエーテボリ市)の国立歌劇場の首席チェロ奏者を務める。

海外派遣留学生、及び、西ドイツ給費留学生として1972-1975年まで国立folkvank芸術大学マスタークラスにてポール・トルトリエ教授に師事する。最終的にフィンランド政府給費留学生としてシベリウス・アカデミーのマスタークラスにてアルト・ノラス教授に師事し1979年首席で卒業する。1980年から2011年3月までの31年間、東京交響楽団の首席チェロ奏者を務め退職後、玉川大学芸術学部の非常勤講師として後進の指導にあたり2016年3月に退職、現在はソロやさまざまなオーケストラの客演首席チェロ奏者としての演奏活動を行なう一方、チャペルコンサートをはじめとする宣教の働きにも携わっている。

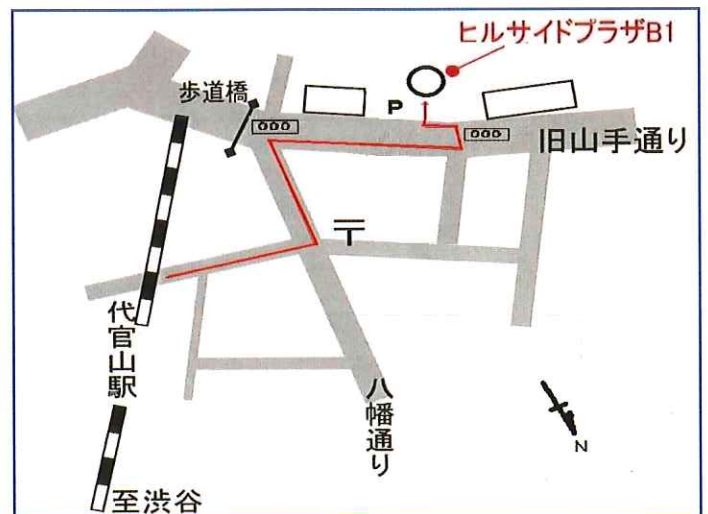
フィンランドのヘルシンキ市のラマト・プフ聖書学校で聖書の学びも修め、1992年にはカリフォルニア神学大学院より名誉神学博士号を受ける。2003年9月に公募部門で全日本山岳写真協会賞を授与され、全日本山岳写真協会の会員となる。その後も数々の賞を受賞している。

ボーマン・ルリ子 (ピアノ)

1972年武蔵野音楽大学卒業。ドイツ国立folkvank芸術大学マスタークラスでデトレフ・クラウス氏に師事し1975年に卒業。夫君の伴奏を務めている。1994年より協力宣教師として3つの教会の働きをサポートしている。

超教派のボランティアの働きとして「賛美と御ことばと、祈り」の集会WOGA(The Word of God Acts=神のことばが働く)を2004年以来、6県8カ所で月一回行っている。2006年4月より、お茶の水クリスチャンセンターのご依頼で「賛美と聖書の学び」を担当している。

牧会神学博士(D. Min.)でもある。



2016年 9月11日(日)午後2時開演

代官山ヒルサイドプラザB1ホール

¥3,500(全自由席 お茶とお菓子付)

主催 「留学生の母親」運動を支える会

このコンサートの収益は 日本で学ぶ留学生への支援と国際交流のために使われます

お問合せ 東京YWCA:03-3293-5424 会場(当日のみ):03-3780-2029

ヒルサイドプラザ 渋谷区猿楽町29
(東横線「代官山」下車徒歩5分)